

8/29

大切に育てられた秋の味覚



昨年の7月豪雨災害の影響を受け、現在も復旧作業が続いている刈屋地区の復興を応援する梨の直売会がいろは蔵パーク内で行われました。当日は200人以上の方が刈屋梨を購入するために会場を訪れ、購入した方からは「一生懸命作ってもらって農家の方々に感謝している。買って応援したい」という声も寄せられました。

8/31

みんなで考える、まちなかの未来



本市が令和7年度中の策定に向けて取り組んでいる「酒田まちなかブランドデザイン」に多くの方の意見を取り入れるため無印良品酒田との共催で「タウンミーティング in 酒田」を開催しました。会場では参加者より、本市のまちなかの未来に関するさまざまなアイデアが寄せられました。

9/9

関係人口の創出に向けた連携



大和リビング㈱と本市は、将来的な定住人口の増加、関係人口の増加を図ることなどを目的とした、包括連携協定を締結しました。大和リビング㈱が単独で地方自治体と包括連携協定を締結するのは初めてのことであり、地域の活性化に向けて連携して取り組みを進めていきます。

9/12~16・19~25

多様なアートに触れる



障がいのある方のアート作品展「いいいろいろ展」がミライニと出羽遊心館で開催されました。今年で8回目を迎え、絵画や書道・立体作品などが展示され、来場者は真剣に鑑賞していました。展示の情報はInstagramでも紹介していますので、そちらも併せてご覧ください。

8/30~12/26

酒田市の歴史に触れる



酒田市合併20周年を記念して、酒田市文化資料館光丘文庫で「ひろがる酒田—明治から平成の合併の歴史—」が開催されています。明治から平成までの合併などの資料を通して、本市の成り立ちを学ぶことができる企画展示となっています。

9月

黄金色に染まる庄内平野



9月もまだ暑い日が続く中、市内各地で稲刈り作業が始まりました。今年の夏は高温で雨も少ない日が続き、稲の生育が心配されていました。収穫期を迎え、黄金色の稲穂が風に揺れる庄内平野は静かに秋が深まっていきます。食欲の秋、新米が楽しみです。

8/24

家族で酒田港を満喫



令和6年度は大雨の影響により中止となった「みなとオアシスマつり in 酒田」が2年ぶりに開催されました。みなとオアシス酒田のイカ恋カレーなどのグルメ販売をはじめ、港のお仕事展示、乗船体験、幼稚園児～小学生が参加したウォーターバトルゲームなど家族で楽しめるイベントが盛りだくさんでした。

8/24

心躍る夏のにぎわい



「祝酒田市合併20周年第39回庄内ひらた目ん玉夏まつり」が、ひらたタウンセンター北側広場周辺で開催されました。会場は盆踊り大会、バンド演奏、キッチンカーの出店などでにぎわい、多くの方々が1年ぶりの祭りを楽しみました。最後は花火の打ち上げが行われ、平田地域の夜空を彩りました。

9/6

船上から夕日を楽しむ



船上から日本海に沈む夕日を眺める酒田港クルーズが行われ、家族連れなど多くの方々が参加しました。この日、空には薄く雲が広がっていましたが、水平線付近に雲はなく日本海に吸い込まれるように沈んでいく夕日を甲板上から楽しむことができました。

9/7

行政と地域住民が連携し 災害時の対応を学ぶ



酒田沖の海底を震源とする震度6強の地震が発生したことを想定し「令和7年度山形県・酒田市合同総合防災訓練」がDENKI TEKKO フィールドと光ケ丘地区の施設などで開催されました。約1,100人の参観・参加者は昨年7月の豪雨災害を教訓に、災害対応にあたる手順を学びました。

9/12～14

アイデア満載の作品が 秋を彩る



日ごろの生活で浮かんだアイデアを形にした作品展「第61回酒田創意くふう展」が酒田勤労者福祉センターで開催されました。小学生～一般の作品82点が展示され、訪れた人々は新しい発想に驚いていました。特選作品など計30点は山形県発明くふう展に推薦されます。

9/14

熱き戦いの舞台



市スポーツ推進委員会と酒田米菓(株)が主催する「第4回酒田市モルック大会」が開催されました。子どもから大人まで100人を超える市民が白熱した戦いを繰り広げました。チャンピオンリーグで入賞したチームには、酒田杉を使ったモルックトロフィーが授与されました。